

芸術文化選奨

受賞年度：昭和57年度
 受賞区分：文化賞（個人）

氏名又は団体名	まつい かずひろ 松井 和弘		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所	名古屋市南区	会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要
<p>分野： 日本画</p> <p>大学の講師として後進の指導にあたりとともに、昭和55年度には文化庁派遣在外研修員としてイタリアに留学し、1300年前後のトスカーナ地方の古典画技法を研究して、これを日本画の手法に応用して新生面をひらくなど、本県芸術文化の振興と向上に貢献し、今後もその活躍が期待されている。</p>



松井 和弘



第42回創画展 かきつばた-八橋図-

経歴・業績・近年の活動内容
<p>【略歴】 昭和14年4月 名古屋市に生まれる 昭和40年 東京芸術大学日本画科大学院修了 昭和54年 創画会賞受賞 昭和58年3月 愛知県芸術文化選奨受賞 昭和60年4月 風景の会創立に参加 昭和60年～平成28年 風景の会30周年記念展 昭和62年 創画会賞受賞 平成2年 創画会賞受賞 平成3年10月 創画会会員に推挙 平成3年～平成28年 運営委員 平成17年～平成28年 同会理事 平成19年 創画会60周年記念展 創造美術からの流れ 東京・京都・和歌山・茨城・静岡巡回 平成22年6月 松井和弘展 中部イタリア・アレツツォの聖サンフランチェスコ聖堂内陣のピエロ・デラ・フランチェスカのフレスコ画を日本画の材料と技法で表現。絹本・岩彩・墨・金泥で屏風形式で発表。 平成22年 愛知県条例表彰（教育文化功労） 平成23年 文化庁地域文化功労者表彰（芸術文化） 平成29年 創画会70周年記念展</p> <p>近年は、金屏風を利用して知立のかきつばた、岡崎の藤に挑戦している</p> <p>【主な作品】 「黄いろい棲息地」 （昭54・中部読売美術展内閣総理大臣賞） 「翔映Ⅰ・Ⅱ」 （昭54・創画会展創画会賞） 「翔映」 （昭55・中日展東海テレビ賞） 墨画集「トスカーナ・アレツツォに居して」を出版 （昭57）</p>